

PriceChanger、ECカート最新API対応で 自動価格更新速度をさらに向上

競合の値下げに気づかず最安値を逃している——
価格.com出店のEC事業者が抱える「価格同期の遅れ」を解消

導入のべ100社以上・5年継続利用率90%

idea株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：清野秀之）は、価格.comとECカートの販売価格を自動同期するクラウドサービス「PriceChanger」において、ECカートの最新APIに対応し、自動価格更新速度をさらに向上させました。100商品程度であれば最短1分間隔での価格巡回・更新が可能です。

■ 価格.com出店企業が直面する「手動更新地獄」

価格.comは日本最大級の価格比較サイトであり、多くのEC事業者にとって重要な集客チャネルです。しかし、価格.comで「最安値」を獲得・維持するためには、競合店舗の価格を常に監視し、自社の販売価格を迅速に更新し続ける必要があります。

現状、多くのEC事業者はこの作業を手動で行っています。具体的には、以下のような作業が毎日発生しています。

- 価格.comの商品ページを1点ずつ開き、競合の販売価格を確認
- 自社の価格と比較し、値下げが必要か判断
- ECカートの管理画面にログインし、商品ごとに価格を手動更新
- 更新後、価格.comへの反映を確認

取扱商品が数十～数百点ある場合、この一連の作業に1日あたり1～3時間、月間で40時間以上の工数が発生しているケースも珍しくありません。

■ 手動運用がもたらす3つのリスク

1. 売上機会の損失

担当者が対応できない夜間・休日に競合が値下げした場合、最安値を逃し、翌営業日まで売上機会を失い続けます。価格.comでは最安値の店舗にアクセスが集中するため、わずかな対応の遅れが売上機会損失に直結します。

2. 人的コストの肥大化

価格調査と更新に毎日1～3時間を費やすことは、年間で480時間以上の人件費に相当します。本来、商品企画やマーケティングに充てるべき時間が、単純な価格転記作業に消費されています。

3. 原価割れのリスク

競合の価格変動に慌てて追随した結果、利益率を考慮しない値下げを行い、原価割れに陥るケースもあります。特に複数の担当者に関与する場合、値下げルールの徹底が困難になります。

■ 最新API対応で実現した高速価格同期

今回のアップデートにより、PriceChangerはECカートの最新APIに対応しました。従来のAPI仕様と比較して通信効率が向上し、100商品程度であれば最短1分間隔での価格巡回・自動更新が可能になりました。

主な機能は以下の通りです。

- 価格.comの競合価格を自動取得し、ECカートの販売価格をリアルタイムに更新
- 下限価格設定による原価割れ防止（利益を確保した自動値下げ）
- 100商品程度であれば最短1分間隔での高速巡回・一括更新
- ECカート最新APIに対応した安定した価格同期

■ 導入効果 — 月40時間の作業がゼロに

PriceChangerを導入したEC事業者では、以下の効果が報告されています。

- 価格調査・手動更新の作業時間：月40時間以上 → ゼロ
- 夜間・休日の売上機会損失：発生 → 24時間自動対応で防止
- 原価割れリスク：担当者判断に依存 → 下限価格の自動制御で解消
- 最安値維持率の向上により、価格.com経由の売上が増加

2013年のサービス開始以来、導入企業はのべ100社を超え、5年以上の継続利用率は90%を達成しています。

■ 15日間の無料トライアル実施中

PriceChangerでは15日間の無料トライアルを実施しております。導入効果を事前にご確認いただけます。

▼ PriceChanger サービスサイト

<https://price-changer.com/>

■ 会社概要

項目	内容
会社名	idea株式会社
所在地	東京都渋谷区恵比寿南3-1-1 いちご恵比寿グリーンガラスビル6F
代表者	代表取締役 清野秀之
設立	2013年8月29日
事業内容	EC価格自動更新サービスの提供、不動産業
URL	https://www.i-dea.co.jp/

■ 本件に関するお問い合わせ先

idea株式会社

担当：清野

E-mail: info@i-dea.co.jp